



衆議院議員 長島昭久 プロフィール

○住所 〒100-8981 東京都千代田区永田町 2-2-1
衆議院第一議員会館 510 号室
〒183-0022 東京都府中市宮西町 4-12-11E7府中 2F
TEL 042-319-2118 FAX 042-319-2119
HP <https://www.nagashima30.com>
Email info@nagashima21.net

○出身地 神奈川県横浜市 ○生年月日 1962年2月17日(寅年)
○家族 妻、娘2人 ○政党 自由民主党
○選挙区 東京30区(府中市・多摩市・稲城市)

主な役職 2003.12～2004.9 衆議院安全保障委員会理事、テロ防止・イラク支援特別委員会委員、
武力攻撃事態への対処に関する特別委員会委員
2004.10～2005.8 拉致問題特別委員会理事、文部科学委員会委員
2005.9～2006.9 衆議院安全保障委員会筆頭理事
2009.3～2009.10 海賊対処ならびにテロ防止・協力支援特別委員会理事
2009.9～2010.9 防衛大臣政務官
2010.9～2011.9 衆議院外務委員会筆頭理事
2011.9～2012.9 内閣総理大臣補佐官(外交・安全保障担当)
2012.9～2012.12 防衛副大臣
2015.1～2015.9 衆議院外務委員会委員、科学技術推進特別委員会委員、安保法制特別委員会委員
2016.9～2017.4 衆議院文部科学委員会筆頭理事
2017.4 民進党を離党し無所属となる
2017.11～2018.5 衆議院文部科学委員会委員
2018.10 衆議院会派「未来日本」を結成。衆議院安全保障委員会委員、憲法審査会委員
2019.6 自由民主党へ入党
2019.10～2021.10 衆議院安全保障委員会筆頭理事、憲法審査会委員
2020.01～2023.3 自由民主党東京都第十八選挙区支部 支部長
2021.10～2021.10 衆議院安全保障委員会委員長
2021.11～2022.10 衆議院北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会委員長
2022.10～2023.10 衆議院東日本大震災復興特別委員会委員長
2023.3～現在 自由民主党東京都第三十選挙区支部 支部長就任
2023.10～2024.9 自由民主党国際局長代理、衆議院東日本大震災復興特別委員会筆頭理事、安全保障委員会委員
2023.11～2024.9 自由民主党政務調査会副会長
2024.10～現在 内閣総理大臣補佐官(外交・安全保障担当)

主要学歴 1984.3 慶應義塾大学法学部法律学科卒業、1986.3 同 政治学科卒業
1988.3 慶應義塾大学大学院法学研究科修士課程修了(憲法学)
1997.5 米国ジョージタウン大学高等国際問題研究大学院(SAIS) 修士課程修了

職歴 1989.4～1992.3 東京文化短期大学非常勤講師(憲法学)
1990.2～1993.6 衆議院議員石原伸晃公設秘書
1992.7～1993.4 平成政策研究所主任研究員
1993.9～1995.4 米国ヴァンダービルト大学客員研究員
1997.8～1999.12 米国外交問題評議会研究員(日本人初・アジア安全保障研究)
2000.1～2000.12 同 上席研究員(非常勤)
2000.11～2001.10 東京財団(現:東京財団政策研究所)主任研究員
2003.1～2003.11 海上保安庁政策アドバイザー
2010.9～2014.3 慶應義塾大学法学部講師(非常勤)
2006.4～2017.6 中央大学大学院公共政策研究科 客員教授
2010.6～2019.9 日本スケート連盟副会長・国際部長兼任
2017.6～現在 日本スポーツ協会理事(～2023.6)、東京都銃剣道連盟会長
2019.4～現在 発展途上国支援を行う特定非営利活動法人「FIGHT FOR VISION」理事
2019.9～現在 日本スケート連盟会長、東京都スケート連盟会長(2010.6～)
2023.7～現在 日本スポーツ協会参与、東京都ゴルフ連盟相談役、東京都軟式野球連盟会長(2024.3～)

賞罰 第3回「読売論壇新人賞」最優秀賞(1997年)

選挙歴 2000.10 衆議院補欠選挙に敗北。落選翌朝から街頭演説、浪人生活3年間。
2003.11 第43回総選挙で衆議院初当選、2005.9 第44回総選挙で衆議院2期目当選
2009.8 第45回総選挙で衆議院3期目当選、2012.12 第46回総選挙で衆議院4期目当選
2014.12 第47回総選挙で衆議院5期目当選、2017.10 第48回総選挙で衆議院6期目当選
2021.10 第49回総選挙で衆議院7期目当選

主要著作 『覚悟 - さらば民進党、真の保守を目指すために』(ワニブックス、2017年6月)
『「活米」という流儀 - 外交・安全保障のリアリズム』(講談社、2013年10月)
『日米同盟の新しい設計図 - 変貌するアジアの米軍を見据えて -』(日本評論社、2002年、[第二版]2004年)
【共著】『国防の論点 - 日本人が知らない本当の国家危機』石破茂、森本敏との共著(PHP研究所、2007年)
【共著】『図解アメリカのしくみ - この国がわかれば明日の世界が見えてくる!』
柳沢賢一郎(編著)(中経出版、1999年、[Version 2]2002年)
【共著】『日米同盟 - 米国の戦略』
マイケル・グリーン、パトリック・クローニン(編著)、川上高司(翻訳)(勁草書房、1999年8月)